

春の叙勲

自治功勞で佐藤志徳さん瑞宝双光章

受章された佐藤志徳さん（82歳、笹倉）は、昭和41年から平成2年までの24年の永きにわたり旧波野村の収入役を務め、村の財政を守りました。佐藤さんは、その間、3人の村長（故榎木野次人氏、佐伯易夫氏、故榎木野惟幸氏）を支えました。在職中は、厳しい財政状況のもと、村長の意を受け、出張旅費の節減など細かなところまで厳しく指導するなど、健全財政の確立に尽力されました。



九州で一番高い駅「波野駅」開設80周年記念植樹

植樹が行われた駅周辺



波野の大道区は、昨年11月、10日間にわたり西日本新聞の肥後再発見「波野大道・駅の町」シリーズに連載され、「JR波野駅が開設して80年の歴史と併せて紹介されました。

波野駅は、九州で一番高い駅（海拔754m）として昭和3年12月2日に開業。これにより大分・熊本間を結ぶ豊肥本線全線が全線開通しました。当時駅周辺は人家のない原野だったそうですが、昭和50年代の初めには、年間13万人、1日当たり350人を上回る客が利用しており、春のワラビ狩りの季節には、急行列車を臨時停車させる賑わいを見せました。現在は、無人駅で、駅舎は15年前に焼失が原因で建て替えられています。

大道区（藤井貴美夫区長）では、80周年の節目にあたり、区の文化遺産として後世に末永く伝えていくことが大切であるとの思いから駅周辺に桜や椿の植樹を行いました。

年間6000人が参拝に訪れる 乙姫子安河原観音で例大祭

5月8日、乙姫の子安河原観音で区主催のもと祭事が行われ、関係者約40人が参加しました。当日は、祭りにあわせ乙姫小学校と乙姫保育園の新生歓迎遠足も行われました。

子安河原観音は、子どもの欲しい人は川石を持って帰り、股に挟むと子宝を授かると言い伝えられ、「子授かり安産」の守り神が祀ら

れていることで有名で、昔から地元の方々に親しまれ、子授かりや安産の際は必ずお参りしていたそうです。

周辺は公園やトイレ等も整備されており、県内外から年間6,000人以上の参拝者が訪れるとのこと。

子安川にある女体に似た自然石のご神体



つつじで賑わった仙酔峡でゴミ拾い 自動車整備組合青年部会

5月21日、熊本県自動車整備工業協同組合阿蘇青年部会（藤木文夫会長ほか7人）の皆さんが、つつじ祭りで賑わった仙酔峡周辺のゴミ拾いを行いました。この活動は昨年から実施しています。今回も朝6時から作業を行い、名所「仙酔峡」にはさすがゴミがない！といわれるよう頑張りました。

